

タイトル：

心をつなぐバーチャル不登校支援

□■■■ ————— 2024年10月10日<Vol.303>—

□■■■ 学校情報セキュリティお役立ち Web「今日もワンステップ！」

□■ 発行元：ISEN メルマガ編集局 <https://school-security.jp/>

□=====

<目次>—————

- 【1】 関連省庁・団体ニュース ～どうなる？ 今後の学校 ICT～
- 【2】 情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～
- 【3】 学校 ICT・セキュリティコラム

▽メルマガ印刷はこちら。朝礼での配布などセキュリティ啓発にご活用ください。

>> https://school-security.jp/contents/mailmagazine_backnumber/

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【1】 関連省庁・団体ニュース ～どうなる？ 今後の学校 ICT～

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

◇◆ トピックス (1)

文部科学省は「令和の日本型学校教育を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）」（令和6年8月27日中央教育審議会）を踏まえた取組の徹底等について（通知）を公表

.....◆◇

文部科学省は9月30日、「令和の日本型学校教育を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）」（令和6年8月27日中央教育審議会）を踏まえた取組の徹底等について（通知）を公表しました。

各教育委員会や各学校がすぐに実行できる方策を整理し、各自治体に通知を发出了ました。

学校での働き方改革をさらに加速するためには、各教育委員会や各学校が、GIGA スクール構想のもとで校務 DX を推進していく必要があります。

GIGA スクール構想のもとで進められている一人1台端末やクラウドツールの活用により、

教師や校内外の学校関係者、教育委員会職員の負担軽減に加え、業務連携をスムーズに行うためのコミュニケーションの迅速化・活性化が重要としています。

また、校務系と学習系ネットワークの統合や、パブリッククラウド上での校務支援システムの導入など、次世代の校務 DX 環境を整備し、柔軟で安全な働き方を実現することが求められています。

さらに、ICT 活用促進に向けた学校の指導・運営体制の充実させるためには、国の予算を活用し、教員業務支援員の安定的な確保も求められます。

文部科学省は、教師を取り巻く環境整備の進捗状況や教師の在校時間等について、毎年度実施される「教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査」などを通じて客観的なフォローアップを行う予定です。

▼「令和の日本型学校教育を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）」（令和 6 年 8 月 27 日中央教育審議会）を踏まえた取組の徹底等について（通知）
https://www.mext.go.jp/content/20240930-mxt_zaimu-000038209_1.pdf

◇◆ トピックス (2)
JAET「第 50 回 全日本教育工学研究協議会全国大会 東京都港区大会」10 月に開催
.....◆◇

日本教育工学協会（JAET）は「第 50 回 全日本教育工学研究協議会全国大会 東京都港区大会」を開催します。

JAET は毎年、教育工学の実践と研究についての交流の場として全日本教育工学研究協議会全国大会を開催しています。

今年で記念すべき第 50 回目を迎える、全日本教育工学研究協議会全国大会は、東京都港区で開催されます。

「Next GIGA ～創造性を育む ICT を活用した新しい時代の教育を目指して～」をテーマに、港区教育委員会と連携し、公開授業、基調講演、研究発表、ワークショップなどが企画されています。

NEXT GIGA を見据えた教育 DX や、次期学習指導要領の検討も本格化します。
先進的な取り組みを学ぶ機会として、ぜひご参加をご検討してみてください。

会期：2024 年 10 月 25 日（金）～26 日（土）

会場：東京都港区立小中一貫教育校 赤坂学園赤坂中学校

予定内容：※プログラムは変更になる場合があります。

[1 日目]

午前 公開授業

午後 開会行事、基調講演、パネルディスカッション

[2 日目]

午前 研究発表、企業展示見学

午後 記念パネルディスカッション、閉会行事

参加方法について：

開催当日、会場でお申込みください。

※詳しくは大会ホームページをご確認ください。

第 50 回全日本教育工学研究協議会全国大会 東京都港区大会

<https://smartconf.jp/content/jaet2024/>

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【2】 情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

★☆ 情報セキュリティ事故の発生状況（2024 年 10 月 1 日調査）

☆★ （1）紛失・置き忘れ：7 件 （2）ワーム・ウイルス感染：2 件

（3）誤公開：4 件 （4）誤送信：3 件 （5）誤配布：1 件 （6）その他：1 件

☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2024 年 9 月は、合計 18 件の事故が発生しました。

情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、
漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。

（1）紛失・置き忘れ

北海道 2024 年 9 月 1 日 道立高等学校 書類 17 件

福岡県 2024 年 9 月 5 日 市立特別支援学校 USB メモリ 4 件

愛知県 2024 年 9 月 5 日 市立小学校 書類 1 件

新潟県 2024 年 9 月 13 日 市立保育園・保育所 書類 2 件

奈良県 2024年9月20日 市立中学校 USBメモリ 不明
大阪府 2024年9月25日 府立高等学校 書類 159件
大阪府 2024年9月30日 府立高等学校 書類 39件

(2) ワーム・ウイルス感染

神奈川県 2024年9月17日 国立大学 システム・サーバー 不明
長野県 2024年9月26日 国立大学 システム・サーバー 4100件

(3) 誤公開

北海道 2024年9月4日 町立中学校 書類 12件
熊本県 2024年9月6日 市その他 ホームページ・Web 28件
静岡県 2024年9月12日 県立高等学校 パソコン 13件
秋田県 2024年9月20日 市立中学校 インターネットサービス・アプリ 123件

(4) 誤送信

神奈川県 2024年9月10日 市教育センター 電子メール 16件
大分県 2024年9月13日 市教育委員会 電子メール 21件
千葉県 2024年9月28日 市立中学校 電子メール 40件

(5) 誤配布

北海道 2024年9月30日 町立中学校 書類 不明

(6) その他

大阪府 2024年9月24日 市立小学校 USBメモリ、その他 不明

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しています。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

Yahoo!ニュース／NHK NEWS WEB／47NEWS／大阪府ホームページ／
ScanNetSecurity／信州 NEWS WEB／大田区ホームページ／北海道新聞デジタル／
玉名市ホームページ／川崎市ホームページ／Security NEXT／千葉日報オンライン など

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■
□【3】 学校ICT・セキュリティコラム
■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

渋谷区が東京都のVLP（バーチャル・ラーニング・プラットフォーム）での不登校支援「バーチャルけやき」を開始して、もうすぐ1年が経ちます。

バーチャル不登校支援を始めるにあたり、大切にしたのは職員の共通理解です。子供同士の偶発的なコミュニケーションの場、誰とも会わない生活から社会への第一歩、外に出られないけれど誰かに相談できる場など、教育センターの職員全員でコンセプトを共有し、子供たちの心の居場所としての不登校支援をスタートさせました。

渋谷区の特徴は、心理士を常駐し「そだんルーム」を作ったところです。ひよこのアバターの心理士「たこやきちゃん」は子供たちに大人気で、話し相手やバーチャルカウンセリングを行っています。リアルのけやき教室（渋谷区の相談指導教室）から参加している子と、家から参加する子が混ざっておしゃべりしている様子を見ると、バーチャルのコミュニケーションの可能性を感じます。最近は都の支援員さんの発案でオンライン部活を始めており、楽しそうにチャットやおしゃべりをする様子が見られます。

この1年弱の様子を見てみると、子供たちは、学習のフォローというよりも、人とのつながりを求めて来ていることが分かります。ここを利用している子は、リアルのけやき教室に通室している子以外に、完全不登校でどこにもつながっていなかった子も含まれます。家から出られない子には、スクールソーシャルワーカーが家庭訪問をしてアカウントを渡しています。バーチャルの利用を経て、リアルのけやき教室につながる子も少しずつ出てきました。

知らない人ばかりのところに初めて行くのは大人でも躊躇するものがあります。しかも不登校であったら、適応指導教室に行くまでのハードルはとても高いです。バーチャルの世界で知ってから行ってみると、「VLPにいた〇〇先生や〇〇ちゃんがいてくれた」というように、安心材料の1つとなります。また、アバターならいつもと違う自分になれて話しやすいという不思議な魅力もあるようです。

視察などで一番多く聞かれるのが、「渋谷区はバーチャル用に人の配置をしているのですか？」ということです。渋谷区でもこの取り組みは始まったばかりなので、

特別に人を配置しているわけではありません。

けやき教室の職員や教育センターの心理士が通常の仕事をしながらバーチャル空間に入り、できる範囲での対応をしています。東京都の支援員が常駐してくれているのも大きいです。

バーチャル不登校支援は空間を用意すれば終わりではなく、中にいる人の反応や声掛けがあってこそ子供たちが入りたいと思える世界になります。渋谷区では心理士を中心として職員が前向きに取り組んでいることで、いつも温かい雰囲気にあふれています。不登校の子たちがほっとできる空間、他の人との関わりを楽しみなと思ってくれる空間が持続できるよう進めてまいります。

◆ 執筆者プロフィール ◆

細田 梨絵

渋谷区教育センター指導主事

……◇◆【最新版】「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書」を公開 ◆◇……

ISEN では、今年 6 月に「令和 5 年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」調査報告書（第 1 版）を Web 公開しました。第 2 版は、11 月中旬頃公開予定です。

>> https://school-security.jp/leak_all/

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2 階（株式会社 JMC 内）

<https://school-security.jp/>

▽「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。
メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2/>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。
<https://school-security.jp/privacy/>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、下記フォームよりご連絡ください。
<https://fs220.xbit.jp/y592/form3/>